


2017年度 研究サマリー

研究会名称	CKD 啓発動画研究会	
代表者所属	国際医療福祉大学病院	
代表者氏名	安藤康宏	
<p>研究方法・結果</p> <p>目的： CKD という病名の認知率を高めることを主目的とした、費用対効果に優れた CKD 啓発手法の検討。</p> <p>方法： 従来の CKD 啓発活動ではアプローチできなかった、健康関連情報への関心が低い人や若年者を対象として、① CKD の 3 文字を見聞きした事がある人を増やす、② CKD=慢性腎臓病である事を知る人を増やす、③ CKD に関心を持つ人を増やすために、費用対効果に優れた動画制作や広報手法を模索～試行。</p> <p>結果： 1. 2017 年度の年間動画再生総回数 4 万回以上、2011 年からの公開動画数 70 本、累積総再生回数 18 万回超という数字が示すように、当 RAV-CKD は世界的に見ても、活発に動画配信を通じた CKD 啓発活動を継続的に模索している。 2. RAV-CKD は 7 年の継続的活動を通じて CKD 啓発動画のノウハウや医療界内外の支援のネットワークを構築してきており、費用対効果に優れた動画制作が可能となっている。 3. CKD 認知度向上には、すでに医療関係者や行政によって多数行われてきた「説明型啓発」よりも、マーケティング戦略に基づいた「注意喚起型啓発」の強化が優先かつ効果的であり、YouTube 動画はそのツールとして、また「説明型啓発」への橋渡し役としても有用と考える。 4. 今年度行った第 3 回目の CKD 認知度街頭アンケート調査でも、CKD の低認知率は 7.9% と未だ深刻と思われ、手段を動画に限定せず効果的手法の模索を広く行ってゆくことが不可欠である。</p>		
<p>研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）</p> <p>製作動画および投稿された CKD 啓発動画を YouTube 動画として公開し、RAV-CKD HP に掲載（CKD 動画⇔検索）。</p> <p>栃木県臓器移植推進協会だより第 28 号（2018年2月1発行）に、“年間活動報告：C・K・D の3文字は「慢性腎臓病」を意味します”、を掲載。</p>		